

2023年度

ニチキッズはくさんうら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月9日（月）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子どもが自分で考え、選択・決定する機会を大切にしながら一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心安全で伸び伸びと活動できる環境作りを行うことができた。
子どもの発達援助	一人ひとりに合った柔軟な保育が行えるよう計画を立てることを心がけてきた。子どもの成長・発達への理解を深めると共に、背景や環境など視野に入れながらの関わり方、保育実践に努めていきたい。
保護者に対する支援	日々の連絡帳や送迎時を利用し、子どもの様子や成長を伝え、保護者の声にも耳を傾けるよう心がけた。また行事の際も保護者一人ひとりと丁寧に言葉を交わし共に成長の喜びを共感し合うことができた。
保育を支える組織的基盤	園内研修や職員会議などを通して、園全体での方向性が見えてきたことにより共通認識を持ちチームで取り組むという意識が強くなった。今後も職員間で話し合う機会を持ち方向性の統一、質の向上を目指していきたい。

総評
保育園の保育理念や保育指針を踏まえた上で、子ども一人ひとりの思いを受容していくことを念頭に置き、子ども自身が選択し、好きな遊びをじっくり取り組めるような保育設定を行った。異年齢での関わりの中で保育士がしっかり気持ちを受け止め仲立ちすることで「貸して」と自然に言えるようになったり、「後でね」と自分のありのままの気持ちを安心して表現できるようになったりと成長がみられた。次年度に向けては成長・発達の理解を深め、子どもにとってより良い関わり方を探求し、信頼関係の構築に努めていきたい。